

# 令和元年度 吹田市地域自立支援協議会

## 専門部会報告書

### 【 部会名：当事者部会 】

#### 1 これまで検討した課題への取組みについて

活動方針	平成 31 年度 活動方針 ～地域社会の理解・社会モデルの実現へ～ 【知る】 当事者自ら他の障がいへの理解を深める 【伝える】 当事者の声を伝える（伝える技術を身に着ける） 【学ぶ】 施策や情勢、地域等について学ぶ
課題	共生社会を創り上げていくには、障がい者理解を社会に広めるため、地域との関わりを深めていく必要があるが、今後はどのようなアプローチしていくか？と伝えていく手段の検討が更に必要である。
取組み内容	活動理念である「知る」「伝える」「学ぶ」の三本柱を基本に着実に実践していくための機会を協議検討。 (1) 役員会（月 1 回 第 1～2 週目） (2) 定例会（月 1 回 第 3 木曜） ア当事者が日常で感じることを発表するリレートーク（毎月） イ日常生活における障がい者に関する事案についての事例検討（毎月） 参議員選重度障がい者当選者による国会運営等、バス等乗車拒否、他ウ各種制度について当事者自身が学ぶ学習会（2 回） 1 回目 6 月 20 日実施 テーマ：吹田市の中核市移行について、 2 回目 11 月 21 日実施 テーマ：65 歳の障がい福祉サービスから介護保険への切替えについて (3) 出張しゃべり場（日中活動支援事業所の利用者と当事者部会との交流） (4) 地区福祉委員長への出前講座についてのプレゼンテーション 別紙参照 (5) 当事者部会研修会 令和 2 年 3 月 12 日予定 千里山コミュニティセンター 四天王寺大学 人文社会学部 鳥海 直美教授
まとめ	障がい者の、地域とのつながりがまだまだ希薄な中で、「もし災害が起こったら？」、「部屋の中で転倒してしまったら？」、「手話を理解してもらえてない？」など、日常生活に不安を感じる事が常に付きまとう。これらの解消に、どうやって地域との関わりにつなげていけば良いかを当事者部会から発信し、自立支援協議会で考えていきたい。

#### 2 部会の構成メンバー

全身性障がい 6 人  
視覚障がい 2 人  
聴覚障がい 1 人  
知的障がい 1 人  
内部障がい 1 人